



科学研究費補助金学術変革領域研究 (A) 令和4年～令和9年

光の螺旋性が拓くキラル物質科学の変革

領域の活動について

研究組織・体制

領域代表 尾松孝茂（千葉大学）

計画研究代表者

A01 余越伸彦（大阪公立大学）

A02 江原正博（分子科学研究所）

A03 中嶋琢也（大阪公立大学）

B01 岡本裕巳（分子科学研究所）

B02 押切友也（東北大学）

B03 田口敦清（北海道大学）

C01 尾松孝茂（千葉大学）

C02 蓑輪陽介（大阪大学）

C03 細川千絵（大阪公立大学）

C04 松崎典弥（大阪大学）

総括班

代表者 尾松孝茂（千葉大学）

分担者 岡本裕巳（分子科学研究所）

分担者 江原正博（分子科学研究所）

評価委員

八島 栄次 名古屋大学

谷田貝 豊彦 宇都宮大学

増原 宏 国立陽明交通大学（台湾）

末元 徹 電気通信大学

アドバイザー

栗原 和枝 東北大学

原田 慶恵 大阪大学

笹木 敬司 北海道大学

井上 康志 大阪大学

海外評価委員

Kishan Dholakia University of Adelaide (AU) /
University of St Andrews (UK)

Halina Rubinsztein-Dunlop

The University of Queensland (AU)

Malcolm Kadodwala University of Glasgow (UK)

Alexander Govorov Ohio University (USA)

共同研究推進のために

展開研究の推進

<キラル秩序の化学><らせんの工学><渦の物理学>
各展開研究にコーディネーターを配置



トレーニング工房

先端光源技術・微細加工技術・先端精密計測技術・理論シミュレーション技術
など、基盤技術を共有化

それぞれの技術基盤を持つ計画研究グループがホストとなり，若手研究者を中心として数日間にわたり他研究グループに滞在して基盤技術を習得，共同研究を展開

領域内オンライン講習会

タイムリーに研究討議・意見交換を実施



領域会議（年2回程度）

対面で議論し，そのメリットを生かして研究のブラッシュアップ，研究萌芽の
創出を企図

若手共同公募研究

領域内で発生する自発的な共同研究を支援

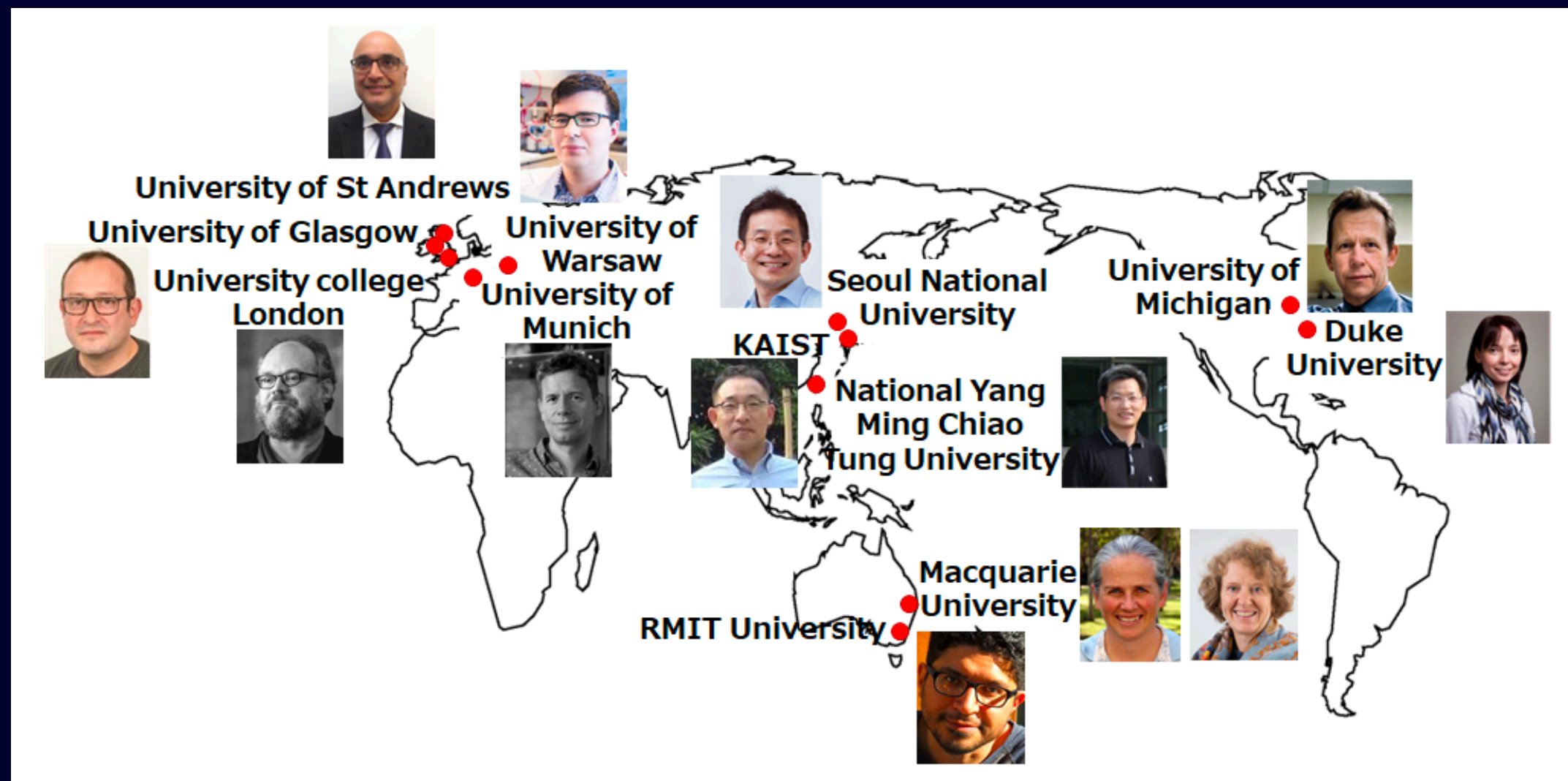
国際活動

既に構築されている国際共同研究ネットワークを活用

欧, 米, 亜, オセアニアに展開

国際シンポジウムを企画

若手を中心に海外研究派遣, 海外研究者・学生の招聘を支援



若手活動

計画研究代表のうち7名が45歳以下（2022.4.1現在）
各研究グループにも若手研究者，学生が在籍

若手研究者を主な対象とする以下のような取組を企画

トレーニング工房

領域内オンライン講習会

成果を自慢しあう会

若手共同公募研究を支援（研究旅費・会議費・論文掲載費）

若手研究者のオンラインフォーラム（Slackなどの活用）

若手研究者を中心とする研究会

若手を中心に海外研究派遣，海外研究者・学生の招聘を支援

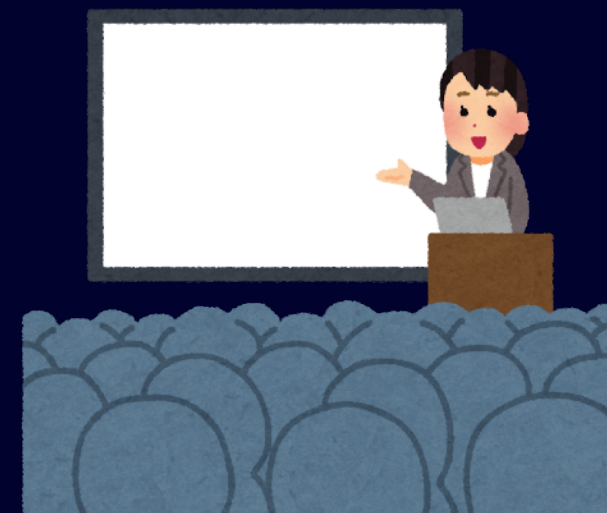
若手総括班を設置，上記を自主的に運営



研究成果の発信

領域主催 公開シンポジウム（年1回を予定）

領域主催 国際シンポジウム（未定）



学会活動

国際会議

"Optical Manipulation and Structured Materials Conference"

(Optics and Photonics International Congress: OPIC) を継続発展

応用物理学会，日本化学会等のシンポジウムを計画検討

アウトリーチ活動

領域ホームページ

市民講座，企業研修等を計画検討



研究資源の共有

共通性の高い研究機器を領域で購入，共有

既存の研究資源を共同研究に有効活用

装置設備

円偏光二色性顕微鏡

円偏光光電子顕微鏡

電子線描画装置

円偏光二色性分散計 等

技術基盤

先端光源技術

微細加工技術

先端計測技術

理論・計算・シミュレーション技術 等

